

# 令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

## 1. 学校・市町村概要

名護市立 東江小学校

・教育目標:「たくましく」「あたたかく」「すすんで学ぶ」

・所在地 ● 沖縄県名護市東江一丁目7番2号

・児童数

| 学年   | 小学校 |    |    |    |    |    |        |     | 中学校 |   |   |        |   | 小中計 |
|------|-----|----|----|----|----|----|--------|-----|-----|---|---|--------|---|-----|
|      | 1   | 2  | 3  | 4  | 5  | 6  | 特別支援学級 | 計   | 7   | 8 | 9 | 特別支援学級 | 計 |     |
| 児童生徒 | 58  | 58 | 60 | 55 | 63 | 60 | 23     | 377 |     |   |   |        |   | ##  |
| 学級数  | 2   | 2  | 2  | 2  | 2  | 2  | 5      | 17  |     |   |   |        |   | 17  |

○名護市概要【人口】65,215人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

## 2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねし、進んで発話する。

## 3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・活用】

- 名護市英語ゴール【自分について英語で紹介することができる】を達成できるようにする。
- 児童の実態に応じた活動を展開することで、主体的に学習できるようにする。
- ペアやグループで協力して進める活動を取り入れることで、児童相互のコミュニケーションを促す。
- ALTと連携し、コミュニケーションをとる機会を多く持てるようにする。



## 4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

- ペアやグループ活動を通して、お互いに教え合ったり助け合ったりする姿が見られた。
- 授業中だけでなく、休み時間や課外活動にも進んでALTに話しかける姿が見られた。
- 異学年での交流を実施したことで、相手に応じた言葉選びや思いやりのあるコミュニケーションを実践することができた。
- 本校の特色である「縦割り班活動」を活用した取り組みを実施していく。